

IP NEWS

インテリアプランナーニュース

1993.9 VOL. 6



- 特別企画：シリーズ「北海道の地域に根づく工芸を訪ねて」-4
- 北海道IP協会総会報告
- 北海道IP協会会員紹介
- IP実施例
- 北海道IP協会賛助会員紹介
- IP更新講習開催
- 見学会報告

彫刻「STAY-No.4」 W1,700 H1,500

大橋篤司 東京芸術大学美術学部彫刻科卒業
東京芸術大学大学院美術研究科修士
作品写真提供/オフィス・メロウ (絵画・彫刻・工芸等、
道内芸術家の作品の企画・販売)060 札幌市北区北7条西2
丁1137山京ビル1007 TEL・FAX.011-756-3771

■特別企画——シリーズ「北海道の地域に根づく工芸を訪ねて」—4

銅型鑄造所 小笠原光康さん 白老町竹浦520 ☎0144-87-4987

海ぞいの国道36号線を白老から車で15分程度内陸に入った丘陵地の中、小学校の廃校に北海道では少ない鑄造の工房があった。小笠原さんは今年の4月からここで生活している。生活の場になっている教員宿舎に香をたいて私を迎えてくれた。

■鑄物の楽しさ

湯上 最初に鑄物をはじめた動機を聞かせて下さい。

小笠原 僕はいろいろの職業を経験してきました。最初は写真の仕事でした。僕は報道写真が好きで、お金にならなくても良いから手造りの写真を作りたい。しかし実際は広告写真ばかりで、不愉快な思いのまま一生を送りたくないと考え、写真の仕事をやめました。この世の中に一つくらい自分にとって楽しくてしやうがない仕事がある筈だと思って、いろんな仕事をやりました。でも、なかなかそんな仕事はありませんでした。20代前半、ある友人から、アメリカのアリゾナに建築家フランク・ロイド・ライトの弟子のパウロ・ソレリが工房を開いていることを聞き、日本に居てもどうせ同じだから、行ってみようと思ったのです。観光ビザでその工房の鑄造スタジオで働いてみました。最初は面白半分でした。しかし仕事してみると、とても面白い。目の前で見る溶けた金属の美しさ、流し込まれた金属が、砂型を割ると形となって生れ変わる楽しさ、よし、これを一生の仕事にしようと思えました。観光ビザの半年の間、砂型技術のおぼえられるだけのものを夢中でおぼえました。

■北海道でこそ鑄物をつくりたい

湯上 北海道には鑄造の専門家はほとんどいないと聞いていますが、何故北海道

を選ばれたのですか。

小笠原 そのとおりです。北海道の彫刻家のほとんどは、ブロンズの鑄造を本州の人に頼んでいます。北海道生れの僕はそれが面白くなかった。北海道にはフロンティア精神があるというけれど、実は本州の人達（特に企業）が北海道にフロンティアの夢を見つけてやって来ては甘い汁を吸い、そのツケを北海道にまわしている場合がほとんどではないか、それなら僕が本州に行って更に技術を身につけてこよう、そして北海道で鑄造を始めようと思いました。実はアメリカから帰って最初は真狩りに行きました。小学校の廃校をなんとか使わせてもらえることになったからです。しかし、そこには荷物を置いただけで、3年間の予定で本州に行きました。技術を身につけ工房を開く資金を作るためです。東京の北区と野田の小さな工場に働いてロウ型の技術を身につけました。しかし、バブルの影響を受けて職をはなれることになり、予定の資金作りに至らないまま北海道に帰ってきました。かなり絶望の状態でしたが、ある彫刻家の方に白老に来たらどうかと云われて、ここに来ました。わずかな資金を全部使って、工房の設備をととのえたので、今はスッカスカンです。僕は今やる可きことは全てやって、後の事はその時考えるという楽天的なタイプなので

■自分の生き方を大切にしたい

湯上 今後の抱負をお聞かせ下さい。

小笠原 以前札幌で展覧会をやりました。今後も自分の作品を作りたいと思います。しかし良い作品を作って賞をもらおうと云う気持はありません。今の僕には何を造るかよりも、どんな生き方をするかに興味があります。彫刻家が思いを込めた自分の作品を一品生産という形で頼まれた時、自分の技術を生かすために力が入りますし、作品がだんだん可愛くなるものです。

湯上 ブロンズを鑄造する知識は私には無いのですが、技術的に一番難かしいのはどんなところですか。

小笠原 ロウ型の場合、石膏で彫刻のメス型を作り、そこに溶かしたロウを流し込みます。外側からロウが冷えて3~4^M/M固まった時、まだ熔けてるロウを流し出します。この残ったロウがブロンズの厚みになり、この厚みが薄い程ブロンズの表面が美しくなります。厚くなると中のガスの気泡が表面を荒らすこととなります。ここが一番大切で、ブロンズの表面を見ただけでその厚さがわかります。

湯上 今日は本当にありがとうございます。今後の御活躍を期待しています。

その後工房でブロンズ製作の工程を詳しく説明していただきました。鑄造は金属を溶かすダイナミックさと、型を作る繊細さの両面を必要とする工芸だと実感しました。



小笠原 光康
1957年 札幌市生。
1985年 パカロ・ソレリ主宰の
*ARCOSANTIに参加
その後鑄造技術修業
1993年 銅型鑄造所設立



聞き手：湯上 剛志

- 北海道インテリアプランナー協会
- 株竹中工務店 設計部長

私の住む標茶町とは人口1万1千人程の小さな町であります。まして私の本籍に至っては熊牛原野15線西2番地…とても人間の住んでいる所とは想像しがたい名称がつけられています。

こんな田舎に住む私が、インテリアに興味を持ち出したのは、かれこれ7~8年前です。ちょうど北海道の住宅作りとして高断熱高気密住宅作りの勉強を始めた頃でした。様々な模索の末、現在のAR工法と出合い北海道の住宅はこれしかないと自信を深めました。このAR工法住宅はお客様へ引き渡し前の気密測定結果に50pa差圧による漏気回数が1.0回

以下、延床面積1㎡当りの隙間相当面積1cm以下というものすごい数値が簡単に出来るのです。(簡単といってもそれなりに難しいのではありませんが)こうなると私の目指す住宅作りに必要なものは、そうですインテリアしかないのです。AR工法住宅にインテリアが見事に生かされればもう鬼に金棒という事になるはずなのですが……一口にインテリアデザインと言っても非常に難しく、老若男女、さらには個人差があり、私個人の感覚だけで考える事の出来ない場合も多くあります。

そんな時には、やはり色々なスタイル

に対応出来る中の広い感覚の必要性を痛感することになります。ただ、インテリアデザインという分野の中では、色とか形とかを決める行為よりも、遊び感覚、遊び心、の方がより大切な様な気がします。

私の勝手な思いですが、インテリアデザインとは私の生き方の一部であり、これからの自分を築き上げるために大切な伴侶でもあると確信しております。標茶町という限りない大自然に囲まれた中でインテリアデザインが生かされる住宅作りに動んで行こうと思っています。



階段部分



吹抜部分



オープンキッチン

■ 賛助会員紹介

アスワン株式会社 札幌支店

支店長 曾根崎俊郎 インテリア製品の開発、販売
担当者 辻本 修二
〒065 札幌市東区苗穂町14丁目2-18 TEL. 011-731-9777
FAX. 011-742-8892

シンコー株式会社

代表取締役 佐藤 良三 インテリア資材の卸売
担当者 佐々木滋巳
〒061-32 石狩郡石狩町新港西2丁目705-2 TEL. 0133-73-0123
FAX. 0133-73-7771

住江織物株式会社 札幌営業所

所長 佐藤 悦延 インテリア製品製造
担当者 佐藤 悦延 販売
〒064 札幌市中央区南11条西13丁目959 TEL. 011-563-2331
FAX. 011-551-3529

株式会社天童木工 札幌営業所

所長 北條 康一 家具製造、販売
担当者 北條 康一
〒060 札幌市中央区南1条西1丁目札幌東ビル TEL. 011-222-2323
FAX. 011-251-1475

株式会社トミタ札幌営業所

所長 中西 秀邦 インテリア資材メーカー
担当者 中西 秀邦
〒064 札幌市中央区北4条西21丁目 TEL. 011-631-8201
FAX. 011-621-6996

株式会社 土門

代表取締役 土門 衍徳 金属加工(建築金物)
担当者 坪田 章寛
〒047-02 小樽市銭函3丁目274-4 TEL. 0134-62-7575
FAX. 0134-62-7578

日本デザインネットワーク株式会社 札幌営業所

所長 三上 光春 デザイン情報の企画
担当者 三上 光春 販売
〒065 札幌市東区東苗穂10条2丁目873-52 TEL. 011-792-2155
FAX. 011-792-2156

株式会社 北海道川島織物

代表取締役専務 村上 哲郎
担当者 木下 浩司
〒060 札幌市中央区大通西11丁目エスコビル TEL. 011-261-2131
FAX. 011-261-2839

株式会社 北海道キロニー

代表取締役 佐々木吾郎 室内装飾品卸業
担当者 金谷二三雄 (ブラインドメーカー)
〒063 札幌市西区二十四軒3条5丁目1-18 TEL. 011-642-5633
FAX. 011-642-5678

MOLZA株式会社 札幌営業所

代表取締役 澤村 守 スクリーン(ブリーツ、ロール)
担当者 小林 一俊 和紙、産業用紙
〒060 札幌市中央区南2条西9丁目サンケン札幌ビル TEL. 011-222-8118
FAX. 011-222-8131

IP更新講習 開催

7月5日、平成5年インテリア
プランナー講習会が開かれました。

去る7月5日、札幌市教育文化会館(小ホール)にて、平成5年インテリアプランナー更新講習が開かれました。IP資格制度が誕生してから既に5年が経過し、今回が第1回目の資格更新のための講習会ということになります。当日は札幌の他、全道各地より150名程の受講者が会場に集まりました。

講習は財団法人建築技術教育普及センター北海道支部、四王天支部長の挨拶に始まり、配布されたIP更新講習テキストに添って、およそ4時間の講習になりました。センター、景山事務局長の司会進行のもと、午前の講習は北海道建築指導課、石山課長補佐による「インテリア新法規」、午後は北海道大学工学部建築工学科、総内助教授による「インテリア新技術」と続き、最後にインテリア設計事例として、16M/Mフィルムによる6つのオフィスビルの紹介

がありました。「空間の魅力」センチュリータワー、鹿島K1ビル、TSP太陽本社ビル、武藤工業本社ビル、新日鉱ビル、ライカグループ本社ビル)その後、IP登録証と携帯カードの交付があり、無事に第1回目の更新講習が終了しました。

会場の照度、座席のスペース等に多少の難があったものの、資格更新時における講習の実施には、大半のIPの理解があったものと思われます。今後、尚一層の更新講習内容の充実と、資格者の更新制度への認識を期待したいと思います。

引き続き、同会館3階の会議室にて、北海道インテリアプランナー協会による親睦交流パーティーが開かれました。「更新講習、お疲れさま!」の乾杯があり、函館、釧路など各地の方々を含め30名余りのIPによるインテリア、建築談義に花が咲きました。



更新講習



親睦交流パーティー

来年の更新講習予定者は、IP登録No.89...の方々ですので、お忘れなく。

■生活工房・札幌ファクトリー 見学会報告

開拓使麦酒醸造所(のちのサッポロビール)札幌工場第一製造所跡地に、大規模複合商業施設「サッポロファクトリー」が、新しい生活文化の創造をテーマに堂々完成した。貯蔵用のトンネルはピヤホールとしてよみがえり、煙突は時報に合わせて煙りを出す仕掛け時計に姿を変えた。

なんとといっても圧巻は、ガラス屋根に覆われた空間に、屋内庭園やカフェが二層にも三層にも配置された「アトリウム」であり、絵画的な見せ場にもなっている。さまざまな物販店、趣向を凝らした飲食店の構え、銀行、郵便局や託児所まで揃っているというから2時間弱の時間ではとうてい見きれない。

「室さがし」と称し、工場で実際使われていた機械、器具がファクトリーのあちこちに点在している。銅製のビール製造釜は宇宙船に姿を変え、吹き抜けに漂っている。配管器具や複雑な金物がドアの握り玉に埋め込まれたりして、かなり楽しい。

ただ、延べ床12万3000㎡の施設に130以上のテナントが複雑に配されていて、何がどこにあるのかわからない。つまりサインがやや不明瞭な感じがしたのは私の老いのせいかも知れないなどと思ったりしてみた。

最後は、48名の参加者全員がレンガ館のピヤホールに集い、盛大に飲んだことは言うまでもありません。

会員でもある大成建設株の竹井氏によるデザインコンセプトの説明の中に、「冬の暖かさ」というのがあって風景・結界をも表現するイメージに構成されている「舞台」だと私は想像した。

是非とも、雪が降り積もった静かな夜、待ち合わせより早めに着き、ひとりカフェテラスの隅に座り、黒ビールを飲みながら、じっと傘を握りしめて煙突広場に佇む彼女をガラス越しに眺め、暫く待たせてみたい。

もちろん、その後は少し歩き一条館のナッツベリィクラブで、ご機嫌なめの彼女を笑わせジャックダニエルで乾杯だ!!

HIPA会員 佐藤 孝

★インフォメーション

- ・菊地利昭氏 北ガスハウジング(株) TOTO増快写真コンテスト新築部門、全国最優秀賞、北海道地区優秀賞受賞。
- ・IP合格者の中でお知り合いの方がいらっしゃいましたら、是非協会への入会をおすすめ下さい。お願いします。

◎編集後記

北大植物園の中で、北キツネを目撃、迷い込んだとの話してしたが、不思議で仕方が無い。天変地異、色んな事が起こるこの頃、インテリア業界にも何か異変が起こるかも。

情報委員会 小野 悟 野村光雄
瀬上剛志 中井伸二 吉田 宏
新田信昭 吉本真知子

発行日 1993年9月
発行者 北海道インテリアプランナー協会
〒052 札幌市豊平区平岸6条10丁目1-58-414
北国の住まい相談所内
TEL(011)232-6761 FAX(011)232-6762
編集 北海道インテリアプランナー協会
情報委員会
印刷 株式会社 須田製版

■北海道IP協会総会報告—第2回総会：インテリア展報告

■総会報告

北海道インテリアプランナー協会の第2回総会が平成5年5月12日ホテルKKRにて全道の会員が出席するなかで行われた。

会員168名中39名の出席、55名の委任状、計94名より会議は成立し、杉山会長を議長として議事を進めた。

1992年度事業報告・収支決算報告・監査報告が各委員会により行われた後、1993年度事業計画案・予算計画案・次期役員選出方法等の議案が審議された。

各委員会の事業計画は下記の通りで、今年度にも活発な活動が期待される。

1、総務委員会

組織強化と円滑な運営のための活動を行う

- 1) 会員の強化
- 2) 円滑な運営
- 3) その他組織に関する事項

2、交流委員会

会員相互の交流、IP認知と理解の為に他団体・組織との交流を行う

- 1) インテリア展示会の実施
- 2) 地方交流
- 3) その他交流に関する事項

3、事業委員会

会員・IPの資質向上の為に、見学会・研究会等の活動を行う

- 1) インテリア展
- 2) 見学会
- 3) その他事業に関する事項

4、情報委員会

会の活動報告と会員相互の情報交換、IP認知と理解の為に情報活動を行う

- 1) 広報誌「IPニュース」の発行
- 2) 情報の入手活動
- 3) 情報の提供
- 4) その他情報に関する事項

5、専門委員会

1) IP業務報酬研究専門委員会

IP業務報酬研究の専門委員会として5月に発足
今年度半ばに最終答申を行う予定

2) IP受験者講習専門委員会

事業委員会が開催していたIP受験講習を専門委員会として設置し、対応する。委員構成は幹事会で決定の予定

6、支部活動

全道に散在する会員に同一条件で活動をお願いすることは、不可能な面が多いと判断。各地区の幹事を交えての会議により、支部を結成することとなる。

各支部長

- 旭川支部 上山勝己(会員15名)
- 帯広支部 角田浩造(会員14名)
- 函館支部 田嶋英人(会員9名)
- 釧路支部 三浦啓(会員7名)
- 北見支部 式部佳和(会員10名)

来年度の役員選出方法は選挙管理委員会(現幹事会が兼ねる)を設置し正会員の投票によって行う、その方法については別に

細則を定め、会長、副会長、幹事、会計監査は役員中から互選し、総会の承認を受けることとする。との議案が提出された。

報告、議案とも可決承認を受け、第2回総会を終了した。

役員名簿

役職名	氏名	所属委員会	役員名	氏名	所属委員会
会長	杉山 宗典		幹事	田嶋 英人	交流委員会
副会長	木村 昌	事業委員会	+	角田 浩造	交流委員会
+	山本 信		+	手島 伸	事業委員会
+	吉田 宏	情報委員会	+	中 恵子	交流委員会
幹事	小野 悠	情報委員会	+	中村 純一	交流委員会
+	小野 昌幸	事業委員会	+	野村 光雄	情報委員会
+	上山 勝己	交流委員会	+	三浦 啓	交流委員会
+	斎藤 登二	交流委員会	+	山田 新二	総務委員会
+	佐藤 克之	事業委員会	+	湯上 剛志	情報委員会
+	佐藤 孝	事業委員会	+	吉本眞知子	情報委員会
+	任野 高光	事業委員会	監査	中井 伸二	情報委員会
+	式部 佳和	交流委員会	+	山田 熊子	情報委員会
+	高倉 毅	総務委員会	事務局長	一宮 忠雄	



■交流会

総会後、会場近くの北方型住宅情報プラザで開催中のインテリア展(事業委員会主催)を見学、そしてホテルKKRにて交流会が開かれた。来賓の方々の祝辞、賛助会員の紹介等があり、総会の緊張もほぐれ、各所で和やかに談笑する姿がみられ、会員相互の親睦と情報交換の場ができていた。

■インテリア展

総会に合わせて4月27日～5月14日まで、北方型住宅情報プラザで「インテリア展」が開催された。テーマを前回の「人間の五感と空間」の延長線上に設定、「光と色」を主体に中恵子さんの企画により提案された。

「光と色」インテリア展について

「インテリアのなかでも、特に形や図面に現れにくい*光や色、に対し、体で感じ体験してもらいたい」と思い、企画しました。会場では各BOX毎に光や色の相対するものを、それぞれ同時に比較できるように配置しました。



- 1) 各ランプの比較
- 2) 間接光、直接光の見え方
- 3) 白熱灯、蛍光灯による色の变化、見え方
- 4) 暖色系スペース、寒色系スペースの対比
(同じタイプの家具、カーテンを設置)

インテリア展の企画が、一般の方々にも見やすく、又インテリアに対しさらに興味をもつ一つの、きっかけになることを願っています。」

NAKA-K空間設計事務所代表 中 恵子